

9月18日の敬老の日を中心に、町内各地で敬老会が開催されました。子どもの劇やゆうぎ、作文朗読などに参加したお年寄りからは、笑いや感動の声があがっていました。

## 各地で敬老大会開催



橘地区敬老会



小松地区敬老会

## 地域の防災力を強化



9月24日、西安下庄安下地区が東消防署職員を講師に防火訓練を実施しました。集まった地区の方々には消火器の使い方、説明を受けたあと、実際に火に向かって消火訓練をしました。

消防署職員からは、火災報知機の悪質な訪問販売や放火を防ぐための対処方法と、的確な119番通報のやり方の説明もあり、日ごろから防火意識を高めることの大切さを学んだようです。

## 特産品作りにがんばっています

9月15日、山口市で行われた「やまぐち農山漁村女性起業統一ブランド」の認定審査会で、山根要子さん（志佐、工房ふきのとう）の出品した「いろいろ餅」が認定されました。農山漁村の女性が暮らしの中で培った知恵や技と地域の農水産物を生かした特産品を統一ブランドとして、やまぐち農山漁村女性起業ネットワークと山口県が認定するものです。

また、9月21日に県庁で行われた平成18年度ふるさと特産加工開発コンクールで、正分オレンジグループ（生改連）の西川孔子さん（西安下庄）の出品した「回向梅」が努力賞（生改連会長賞）に選ばれました。回向梅は、戸田の源空寺に古くから伝わるものを、このたび西川さんが作ったもので、3日3晩土用干しした梅を土鍋で煮立てて、半日かけて塩抜きする手間のかかるものです。

町内では、農山漁村の暮らしの知恵や、地元産の食材で作られた特産品開発が盛んに行われています。

いろいろ餅



回向梅

